

3. 住民アンケートの意向

(1) 調査の概要

平成19年12月に、郵送アンケートにより「吉富町の都市づくり」についてのアンケート調査を実施しました。調査対象者は、20歳以上の町内在住者1,000人（対象住民約5,600人の約18%）で、492票を回収しました。

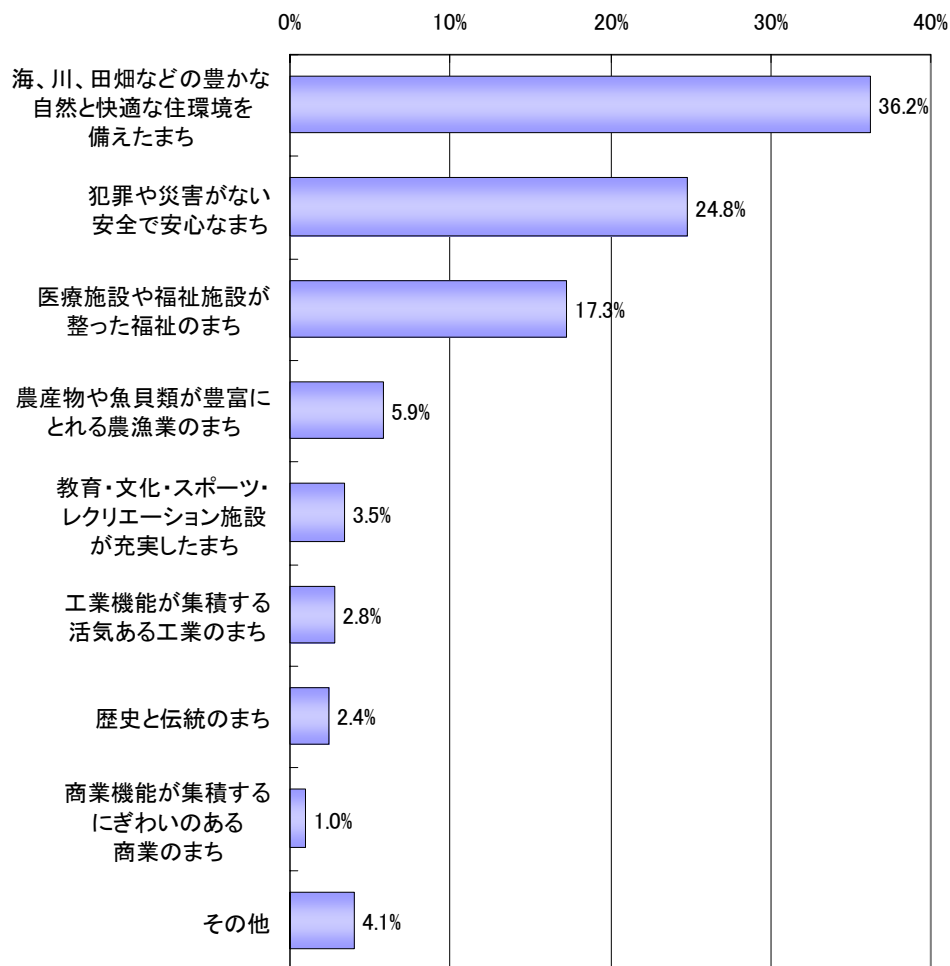
(2) 調査結果

①町の現在のイメージについて

「海、川、田畑などの豊かな自然と快適な住環境を備えたまち」であるとの回答が最も多く36.2%を占めています。次いで「犯罪や災害がない安全で安心なまち」が24.8%で、これら2つで半数を超えています。

第3位に「医療施設や福祉施設が整った福祉のまち」があがっており、医療・福祉施設が充実しているというイメージがある程度あることがわかります。

図2-43 現在の吉富町のイメージ



②生活環境について

居住地周辺の生活環境評価をみると、以下のような結果となっています。

「利便性」については、買い物や通勤・通学は便利だという評価になっています。「安全性」については、地震や火災への不安が表れています。「衛生性・快適性」については、日当たり・風通しのよさや水・空気のきれいさ、自然の豊かさなどの評価が特に高くなっていますが、道路の快適さは評価が低くなっています。「文化性」の評価は平均的ですが、レクリエーション空間・施設でやや低くなっています。「地域社会」の面では、高齢者や障がい者が生活する場所としての評価が低くなっています。「基盤整備」は、各項目での評価が低くなっています。

男女別、年齢階層別でも、評価点は、ほぼ同様の傾向となっています。

表2-22 生活環境の満足度評価

利便性	評価点	文化性	評価点
1. 買い物の便利さ（商店の充実など）	0.45	22. 文化・教養活動の機会・施設	0.06
2. 通勤・通学の便利さ	0.40	23. 地域の祭り・行事など	0.13
3. 公園・広場などの利用しやすさ	-0.11	24. 史跡・文化財などの保護・活用	0.04
4. 各種の公共施設の利用しやすさ	-0.07	25. 運動場などのスポーツ施設	-0.09
5. 公共交通機関の利用しやすさ	-0.12	26. レクリエーション空間・施設	-0.18
6. 車（道路）の利用しやすさ	0.08	地域社会	
安全性		27. 近所づきあい	0.32
7. 防犯などの用心のよさ	-0.07	28. 住民の人情	0.20
8. 火災に対する安全性	-0.14	29. 地域のまちづくり活動	-0.07
9. 水害に対する安全性	-0.08	30. 子どもを育てる場所として	0.08
10. 地震に対する安全性	-0.19	31. 高齢者や障がい者が生活する場所として	-0.20
11. 交通の安全性（交通量、歩道など）	-0.41	基盤整備	
衛生性		32. 道路の整備状況（幹線道路）	-0.17
12. ごみ・し尿処理の状況	0.07	33. 道路の整備状況（生活道路）	-0.34
13. 騒音・振動・悪臭などの公害（静けさ）	0.21	34. 公園の整備状況	-0.12
14. 家屋の建て込み具合	0.27	35. 下水・排水路整備やし尿処理の状況	-0.35
15. 日当たり・風通しのよさ	0.74	36. 河川の整備状況	-0.16
16. 水や空気のきれいさ	0.61	総合評価	
快適性		37. 総合的にみた暮らしやすさ	0.29
17. 緑の多さ（緑地など身近な緑）	0.44		
18. バリアフリーなどの道路の快適さ	-0.50		
19. 海や川、山や田畑など自然の豊かさ	0.51		
20. 建物や広告など街並み景観の美しさ	-0.10		
21. 海や川、山や田畑など自然風景の美しさ	0.30		

評価点の見方

この設問では、周辺環境の評価を「満足」「やや満足」「普通」「やや不満」「不満」の5段階でそれぞれ回答してもらっています。そこで、満足（2点）、やや満足（1点）、普通（0点）、やや不満（-1点）、不満（-2点）とし、その選択肢に回答した人数とを掛け合わせた合計を総得点とし、さらにこの総得点を回答者で除した値を「評価点」としています。最高点は2点、最低点は-2点となり、評価点がプラスであれば満足の傾向、逆にマイナスであれば不満の傾向となります。

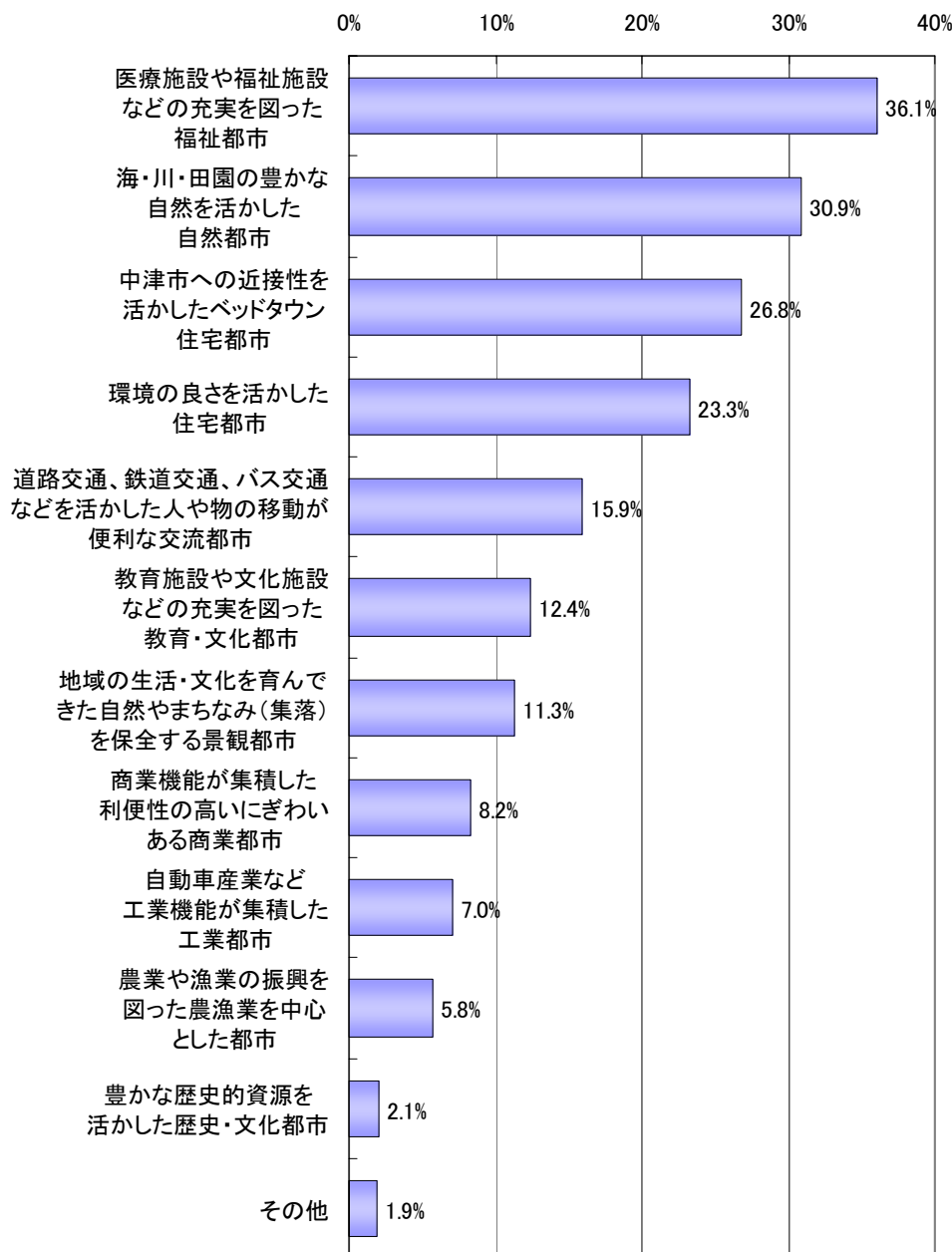
③吉富町の将来像について

1) 将来の吉富町の発展方向

吉富町の今後の発展方向としては「医療施設や福祉施設などの充実を図った福祉都市」と回答した人が36.1%を占めています。次いで「海・川・田園の豊かな自然を活かした自然都市」の30.9%となっています。

3位の「中津市への近接性を活かしたベッドタウン住宅都市」と4位の「環境の良さを活かした住宅都市」とを合わせると50.1%であり、住宅都市となることを望む考えが多いということが出来ます。

図2-44 吉富町が今後目指すべき発展の方向性



2) 今後の都市づくりにおいて力を入れてほしいこと

今後の都市づくりで特に力を入れてほしいこととして、「生活基盤施設の整備充実（道路、公園、下水道・側溝などの整備）」で30.3%の人が回答しています。次いで「防災・防犯対策の充実（安全な都市づくり）」が20.3%、「自然環境保全・まちなみ保全・景観形成（環境と調和した都市づくり）」が18.3%と多くなっています。

住まいの周辺環境の評価で満足度が低い道路や下水道の整備に力を入れることが望まれていることがわかります。

図2-45 今後の都市づくりにおいて特に力を入れてほしいこと

